

事故などの後遺症で「高次脳機能障害」を抱えている方、その家族の方、一人で悩んでいませんか？

同じような体験をした仲間が集まり、語り合きましょう。

「安心して集まる場が欲しい」「少しの時間だけかもしれないけれど一息つこう」

そんな思いからスタートしました。



3月の青い空

3月31日に高知市針木浄水場にて、お花見会を開催しました。当日はご家族と当事者、支援者を合わせて15名に参加していただきました。お花見に欠かせない美味しいお弁当を食べながら、近況報告をしあいました。



3月17日月例会

この日は当事者4名、家族4名、支援者3名と横浜市にある湘南医療大学の准教授（リハビリテーション学科作業療法学専攻）鈴木雄介先生の参加がありました。鈴木先生は、高次脳機能障害を持つ人やその家族、支援の実態をご自身の目で見るため、今までに日本高次脳機能障害友の会の正会員団体の過半数12～15団体を訪問されていて、この日は高知を訪れて下さいました。鈴木先生の自己紹介の後は各々自己紹介と近況報告を行いました。

家族 Aさん

夫は、2013年にくも膜下出血で手術後リハビリテーション病院を経て青い空を利用し、現在電気工事の仕事をしている。6年が経過しだいぶ変わってきた。リハビリを兼ねたランニングが好きで、今年も龍馬マラソンに参加し、先日は四万十町の十和トレイルランニングにも参加してきた。100人ほどの少人数の大会で、集落の人が総出でランナーだけではなく応援に来ている人にもカレー、山菜の天ぷら、しし鍋などを振舞ってくれる、手作り感のあるアットホームな大会で楽しみにしているが、高齢化などでいつまでできるか分からないと主催者の方たちが心配していた。一緒にお手伝いもし、続けてもらいたいのだが・・・。

当事者 Aさん

今、妻が説明したとおりです（笑）。近森リハで心理士さんのリハビリを受けここまで立ち直ることができた。記憶障害はメモを取ることで対応しているが、遂行機能障害はまだ段取りをすることが難しい。今年の龍馬マラソンで、3時間55分で完走し憧れのサブ3の仲間入りができ、趣味はマラソンです。と言えるようになった。

仕事は今、ダム発電所の機械・電気のメンテナンス。機械を分解し汚れ落としやボルト磨きなどをし、また組み立てる仕事をしている。病気の後、ボルト磨きなど飽きずにできるようになっている。朝夕のミーティングがしっかりしているので楽（親会社と自社のミーティングがそれぞれ1回）。決まったこと以外はやってはいけない→決まったことだけやればよい→頭を使わない分脳機能は落ちているかも？リハビリでやっていたナンプレもできなくなっている。とにかく郵便局での仕分けや配達、掃除の仕事よりも楽。

家族 B さん

1999 年次男がバイク事故。今年アメゴ釣り 3 回行ったがダメ。腰痛はマックスベルトを着け始め少し楽になったが、人生初の入院（検査入院）を経験した。次男は大分落ち着いてきたので自分もこらえて居られる。

理事長

全国では高次脳機能障害を知る医療職が居ない地域や、親亡き後問題で困っている人が多い。居場所をつくるなど、支援するための国の制度作りが大事になってきている。

当事者 B さん

16 歳で事故。目にも障害が残ったため盲学校へ入学し、高等部卒業後理療科へ進学し、7 年掛かったが、あんま指圧・マッサージ師の資格が取れた（1 年留年。2 年間聴講生。国試 3 回目で合格。）。この間ストレスがたまったらサンドバックを殴りに行きストレス発散。盲学校入学前に先生が名古屋に障害の勉強に行ってくれた。感情のコントロールができなくなった時は、ひとりになるために解剖室を解放してくれた。資格取得後 3 年半病院に勤めたが退職した。物療室の朝の準備や片づけを全部やらなくてはならなくなったのもしんどかった。

理事長

病院勤務中に医療職からも障害の理解、合理的配慮がなされなかった。病院を擁護すると、成長しようとしていない（新しいことができるようになるのに、通常の何倍も時間がかかるので。）ことに歯がゆさを感じていたのかもしれない。が、何とか時間をかけ精いっぱい一つを達成できても、その上（120%）を要求される。時間をかけるとまた何かできるようになる。できることが多くなるといつの間にか障害への配慮が欠ける。

家族 B さん

他の人の例でも人事異動などで、初期から関わってくれた人がいなくなる場合、ある程度仕事ができるようになっていると申し送りがおろそかになり、障害が忘れられてしまうことが多々ある。それで悩み対照するケースも・・・。

当事者 C さん

2000 年ごろ交通事故。右は動かないかも？と Dr に言われていたが動くようになった。体が動くようになったら心がついていけなくなり、パニック障害になり少しずつは良くなったが、引きこもるようになった。股関節の骨頭壊死もあり、年に 0.数mm 進行している。初めての所には一人で行くことができず、日赤の移転が不安になっている。すぐキレて暴れることもあり、気が付いたら周りに人がいなくなっていた。物に当たることもあり、音にも敏感になっていてイラとする。高次脳機能障害の診断は 1 年位前から理解できだしてきた。輸血で他人の血が入ったのでそのせ

いかな？と思うようにはなっていた。この障害の事をもっと詳しく知り、ピアサポートの事も視野に入れていきたい。体も大事にしながら（重いものを持たないように。以前は大丈夫ですと言って持っていた。）働けるようになってきた。

支援者 A さん

最近これではいけないと思ったこと、子供の部活の応援でゴミを拾わなかった。気付いた時にはアクションを取れるように・・・。

次回女子会は、4月6日西島園芸団地で花見です。女子会は人数は少ないのですが、男性がいると話辛いとも言えるように女子だけで集まろうかと始めた（生理介助、恋愛）。調理など遂行機能にも良いかなと思いつているが、家族が率先し思うようにならないこともある。

理事長

リハ講習会でも話題になったが、男子会は？自分は間違っていないと同調しながら酒を飲むだけ？

家族 B さん

男子会を何度かやったことはあるが、ただの飲み会（笑）。

口々に男は問題を相談しない。問題意識がない。女性と問題意識の持ち方が違う。子育てをしていないので付き合い方が分からない。16歳に3～4歳並みの内容を言われると対応の仕方が分からない。等々。

理事長

男性：治そうとする。女性：診断を受けた時点で理解し、支えていかないと覚悟を決める。この差・・・？

家族 C さん

クモ膜下出血。統合失調症もありてんかんもある。転勤で病院とつながらなかった。コーラ・ゲーム課金・本のネット購入など抑制が効かない。作業所から帰り、腹が立つ。今日もキレたと毎日のように報告してくる。が、これはあなたが悪いねと言うと、それは分かっていると・・・。

支援者 B さん

ゲームの課金、本の購入については、携帯の会社や消費者センターでの保険をはりつつ、できる範囲で抑えていく方策を考えていくようにしましょう。もちろん私たちにも相談してください。

当事者 D さん

交通事故で23年目。このメンバーでは一番古いです。今は一般就労で掃除の仕事をしている。一緒に仕事をしている人がもともとジョブコーチで働いていた人で、本当によく対応してくれている。箒の柄にテープを巻きここから上は持たないでねと教えてくれたり、助けてくれます。

Kさんの新聞記事。Fさんのイエス・ノーの会の事も報告してくれました。



当事者・家族の会 ご案内

月例会ご案内 日時：4月21日（日）

場所：青い空（参加費：無料）

連絡・相談窓口：NPO法人 脳損傷友の会高知 青い空

就労継続支援B型事業所 青い空(平日 9:30～17:00)

〒780-8040 高知市神田 462-7

Tel：088-803-4100 Fax：088-803-4420

青い空携帯：090-9450-2990

E-mail：npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp

URL：<http://blue-sky-kochi.com/>

女子会ご案内 日時：5月11日（土）

詳細は和田さんにお問い合わせ下さい。

お問合せ：090-3186-6701（和田さん携帯）

つどいご案内 日時：5月25日（土）

場所：つどい処

時間：午前10時～

お問合せ＝TEL：0889-52-2880（つどい処）



当事者・家族の会 入会のご案内

「NPO法人 脳損傷友の会高知 青い空」は、事故や病気で脳を損傷し、その後遺症として高次脳機能障害をもつ当事者および家族に対して、高次脳機能障害についての正しい知識や情報の提供および社会参加を促進するための事業等を行うことで、当事者の日中活動の場を確保し、当事者・家族が安心して生活できる環境を整え、併せて社会の理解を得るための活動を行うことを目的に設立されました。

当会の趣旨、活動にご賛同いただける当事者・ご家族の皆様、市民の皆様、医療・福祉分野で、ご関係のある個人又は団体の皆様、どうか正会員または賛助会員としてご支援いただければありがたく存じます。

・入会金：10,000円（正会員のみ）・正会員年会費：5,000円・賛助会員会費：3,000円

NPO法人 脳損傷友の会高知 青い空 〒780-8040 高知県高知市神田 462 番地 7

TEL：088-803-4100 FAX：088-803-4420

E-mail：npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp

URL：<http://blue-sky-kochi.com/>